



第2回 大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

まちづくりの検討の進め方について

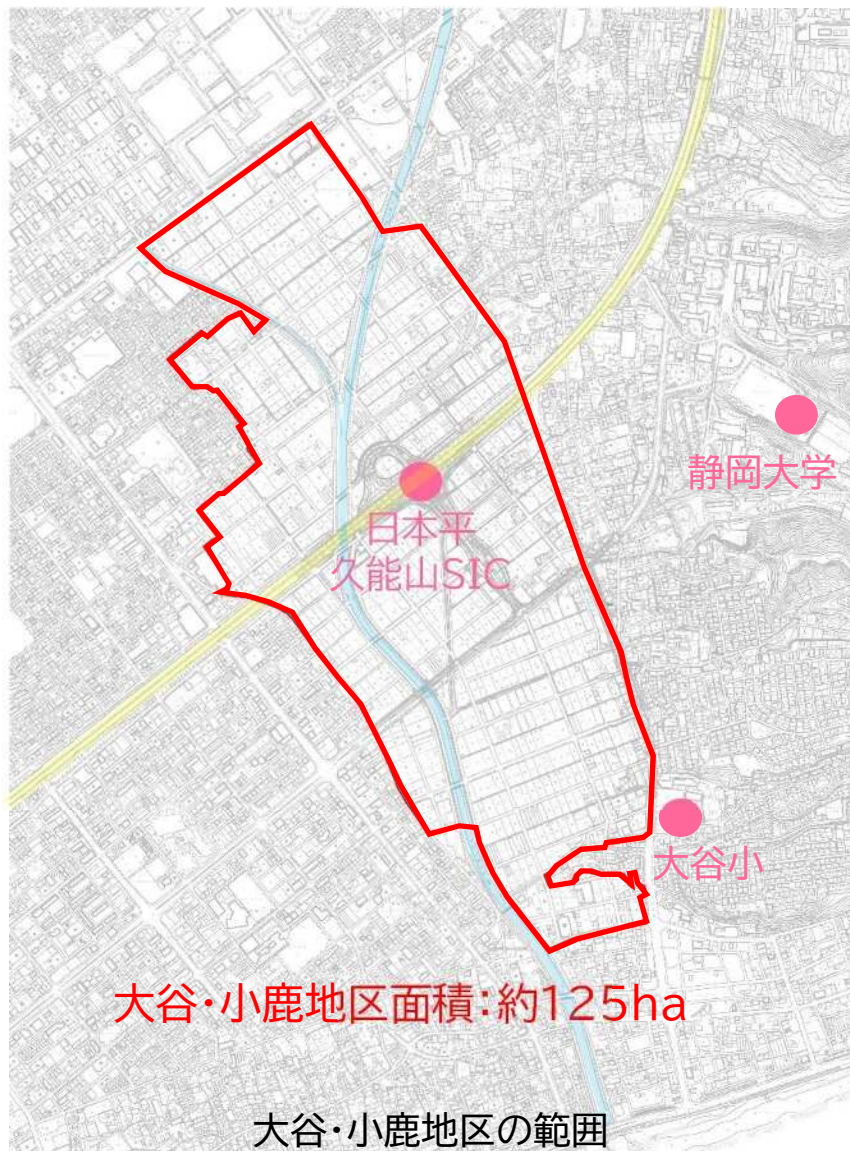


令和4年10月27日



はじめに

大谷・小鹿地区は、**どのようなまち**を目指しますか？
皆さんで考えていきましょう



赤枠の地区を「大谷・小鹿地区」と呼んでいます

従来、この地区は田畑など、農業利用されてきました

平成29年度から、地区内を「土地区画整理事業」により、道路や公園などの基盤整備を行っています

基盤整備が終わった後には、各敷地で土地利用がはじまり、工場や事業所、商業施設、住宅などが建設されていきます

その時、またその後、
今とどのようなことが変わるでしょうか？

例えば…

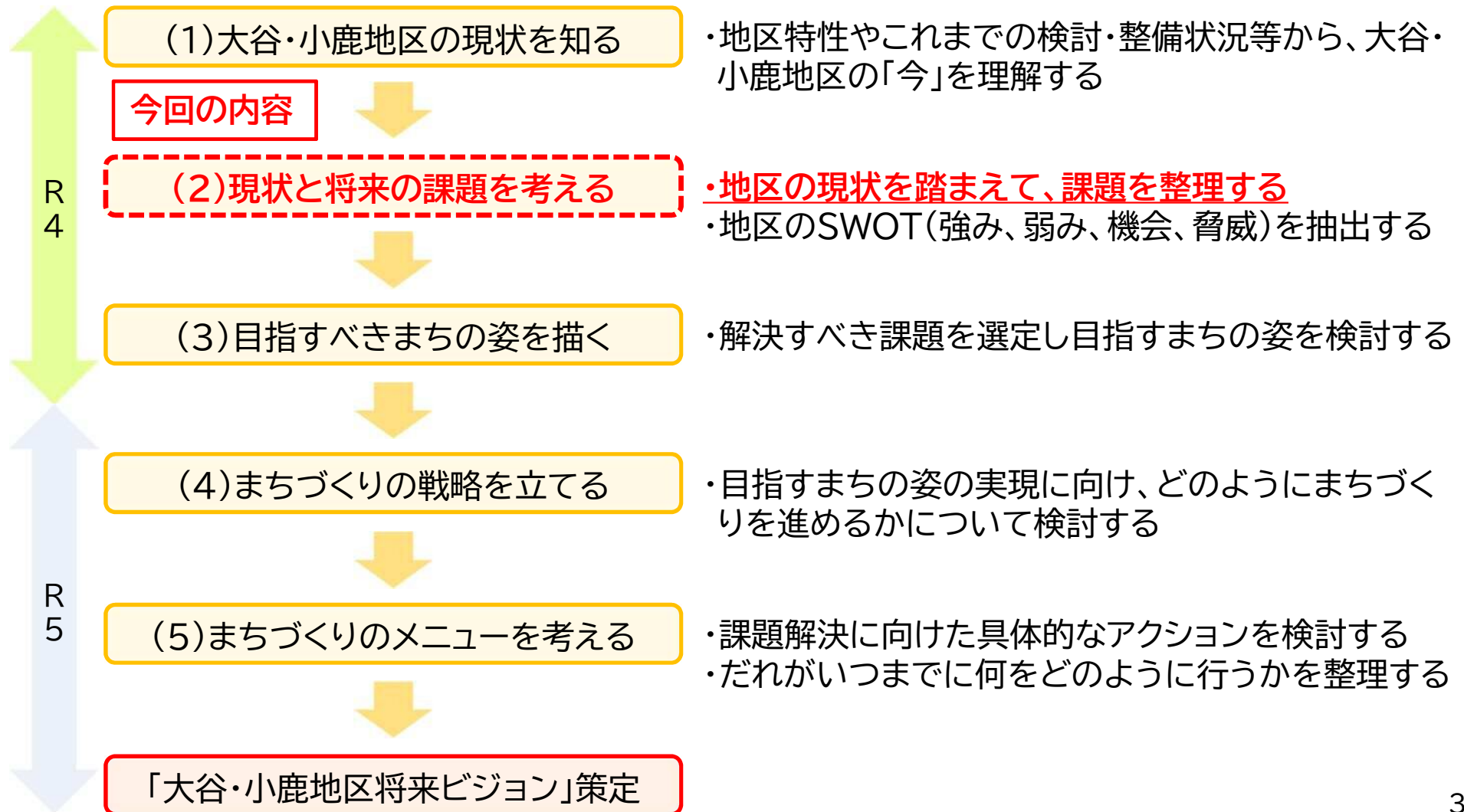
- ・地区内に住む人、働く人、訪れる人が増えます
- ・SICや周辺道路を利用した市内外からの車の往来が増えます

では、そうなった時、
何に困り、どのようなことが必要になるでしょうか？
今から皆さんと一緒に考えていきましょう 2

まちづくりの検討の進め方

大谷・小鹿地区をどのようなまちにすべきか、皆さんと一緒に考えていきましょう
これからの検討・議論を「大谷・小鹿地区将来ビジョン」としてまとめていきます

○検討・議論の流れ



大谷・小鹿地区のまちづくり

大谷・小鹿地区では、土地区画整理事業によるハード整備が進められています
これと併せてソフト施策を行うことで、持続可能なまちづくりを目指します

土地区画整理事業とは

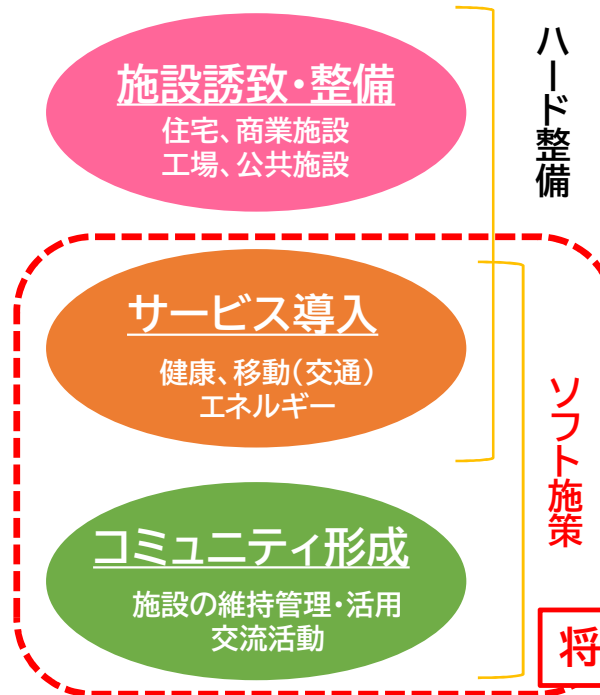
- 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業



土地区画整理事業の実施



土地区画整理事業後の展開



将来の姿

これまでの手法

ハード整備のみ
を実施

様々な課題が生まれている

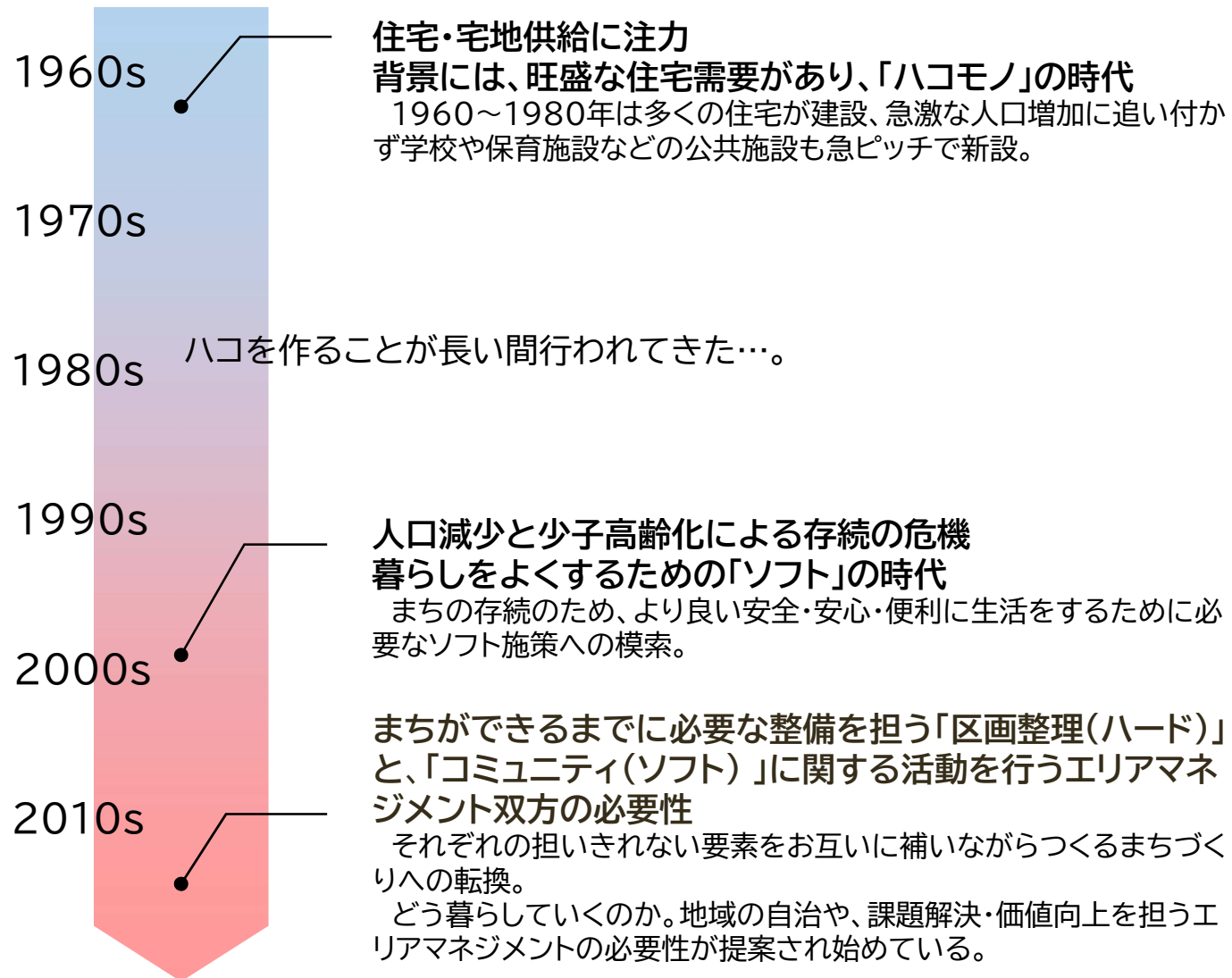
これからの手法

ハード整備と
ソフト施策を
組み合わせて実施

課題解決に向けた様々な
取組が進められている

(参考)「まちづくり」の変遷

時代の移り変わりとともに、まちづくりの方法が変わってきています
大谷・小鹿地区では、ハード整備+ソフト施策によるまちづくりを行っていきます



出典:板橋区HP



自転車送迎事業の拠点「おかねづかステーション」



出典:一般社団法人
エリアマネジメント南山(東京都稲城市)